令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：みどり自然課
担当名：自然ふれあい担当
内線：3155　　（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B32	自然公園等施設整備事業費	一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費

事業期間	昭和25年度～	根拠法令		宣言項目	
				分野施策	051247　生物多様性の保全

1　事業の概要

県内の自然公園にある施設は軒並み老朽化が進んでおり、安全な通行が確保できない場所が出てきている。
多くの方に安心して豊かな自然環境を楽しんでいただくため、施設の修繕や更新を実施する。

（1）自然公園施設等修繕事業費　△888千円
（2）自然公園施設等更新事業費　△12千円
（3）自然公園標識等更新事業費　△61千円
（5）両神山保全活用事業費　△6千円

2　事業主体及び負担区分

（県10/10）

3　地方財政措置の状況

なし

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×0.7人＝6,650千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　自然公園施設等修繕事業費　7,401千円 → 6,513千円
既存施設の機能維持を中心として修繕を行う。

イ　自然公園施設等更新事業費　12,073千円 → 12,061千円
老朽化した施設のリニューアル工事を行う。

ウ　自然公園標識等更新事業費　505千円 → 444千円
老朽化した看板の緊急点検と撤去・再設置を行う。

エ　山岳遭難事故対策事業費　10,642千円
登山道等において、安全対策事業を実施する。

オ　両神山保全活用事業費　53千円 → 47千円
集中的に整備している両神山登山道所在地がナショナルトラストにより取得されたため、当該地域の自然環境の保全と活用について、関係者による協議を行う。

（2）事業計画

県が管理している自然公園施設については、順次計画的に整備を行う。
事業の目標：施設管理瑕疵が原因の自然公園内での重大事故　ゼロ

（3）事業効果

自然公園を安全で快適に利用できることにより、多くの方の自然と触れ合う機会が増大する。

（4）県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況

埼玉県自然公園指導員からの定期報告のほか、埼玉県山岳連盟や首都圏自然歩道利用者等からの意見などを得て整備を進める。

（5）補正予算の概要

経費節減による減額　△967千円

予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
決定額	△967							△967	29,707
現計額	30,674							30,674	